

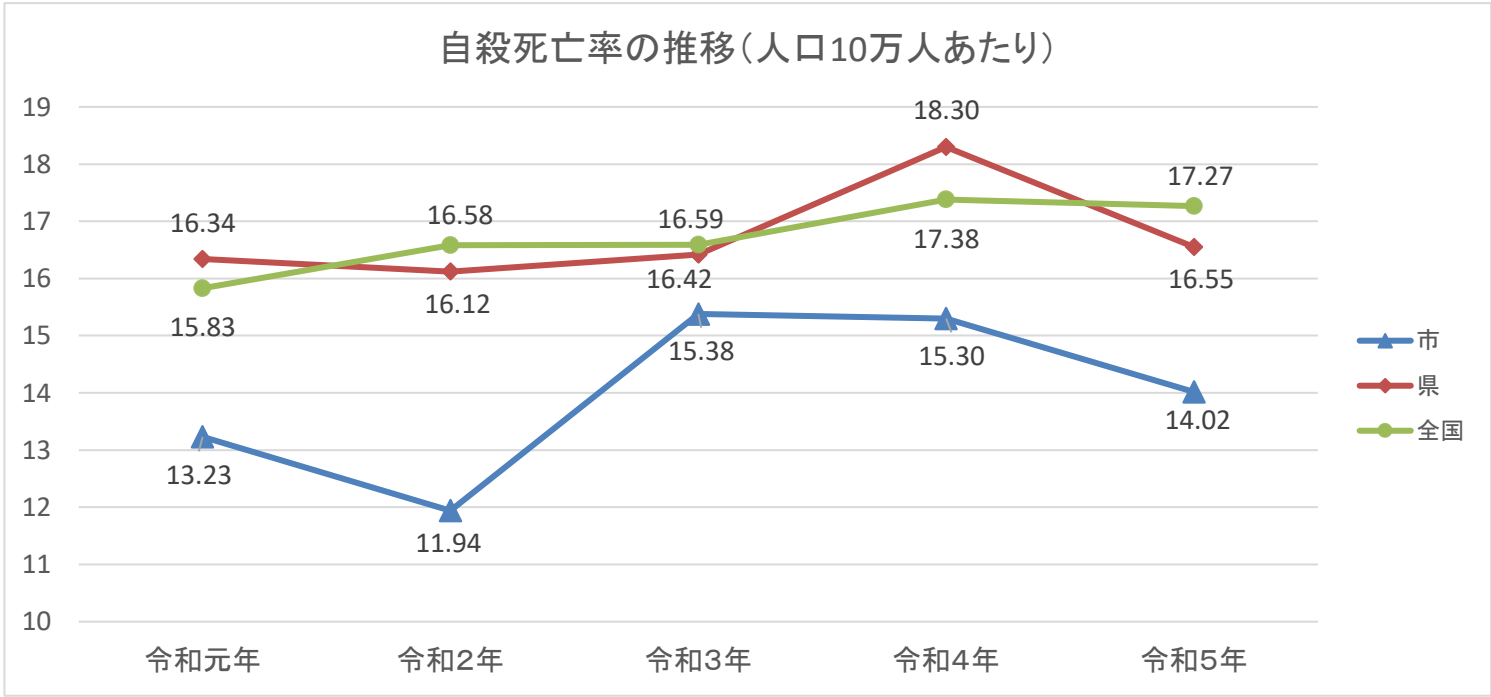
本市の自殺者の特徴(年代・原因など)について

<<自殺者の特徴>>
 【性別・年代】令和3年以降、男性の自殺者数は女性より2倍以上多い傾向にある。特に40歳、50歳代で高く、その合計は全体の自殺者数のおよそ1/3を占める。女性の自殺者数は、令和2年以降横ばいで推移している。年代は50歳～59歳の中高年齢層が多い。男女合わせた働く世代(30歳～59歳)の自殺者数は、令和2年以降全体のおよそ半数を占める。(表2)
 【環境】過去5年間の自殺者のうち、約7割は同居人がいる。(表3)
 【原因】過去4年間の原因・動機は「健康問題」、「家庭問題」、「経済・生活問題」の順に多い。令和5年では「家庭問題」の割合が最も高くなっている。(表4)
 【場所】過去4年間の自殺者のうち、およそ半数が自宅で命を絶っている。(表5)
 【手段】過去4年間の自殺者のうち、約6割が「首つり」である。(表6)
 【未遂歴】令和3年から「未遂歴無」の割合が「未遂歴有」を上回っている。男性では特に「未遂歴無」の割合が高い。(表7)

* 出典：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

▼表1：自殺者数と自殺死亡率

		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年(11月まで)
自殺者数(人)		10	13	13	12	11
自殺死亡率	市	11.94	15.38	15.30	14.02	—
	県	16.12	16.42	18.30	16.55	—
	全国	16.58	16.59	17.38	17.27	—
市人口(人) (3月末)		84,566	85,107	85,675	85,839	—



▼表2：年代別 (人)

年代	令和2年			令和3年			令和4年			令和5年			令和6年(11月末)		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
～19	0	0	0	3	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
20～29	1	0	1	1	1	0	1	1	0	3	2	1	2	2	0
30～39	0	0	0	0	0	0	1	1	0	4	4	0	0	0	0
40～49	3	2	1	2	2	0	2	2	0	1	1	0	1	1	0
50～59	5	3	2	2	2	0	3	2	1	3	1	2	2	2	0
60～69	1	1	0	2	1	1	1	1	0	0	0	0	1	0	1
70～79	0	0	0	2	2	0	3	2	1	0	0	0	1	1	0
80～	0	0	0	1	0	1	2	1	1	1	1	0	3	2	1
不詳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	10	6	4	13	10	3	13	10	3	12	9	3	11	8	3

▼表3:同居人の有無 (人)

同居人	令和2年			令和3年			令和4年			令和5年			令和6年(月末)		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
有	8	4	4	10	7	3	9	6	3	9	6	3	7	5	2
無	2	2	0	3	3	0	4	4	0	3	3	0	4	3	1
不詳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	10	6	4	13	10	3	13	10	3	12	9	3	11	8	3

▼表4:原因・動機別(重複あり) (人)

原因・動機	令和2年			令和3年			令和4年			令和5年			令和6年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
家庭問題	1	1	0	3	3	0	2	1	1	8	4	4	未公表		
健康問題	7	3	4	6	4	2	9	5	4	7	4	3			
経済・生活問題	4	3	1	4	4	0	2	2	0	0	0	0			
勤務問題	1	0	1	1	1	0	3	3	0	3	2	1			
交際問題	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0			
学校問題	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0			
その他	0	0	0	1	1	0	2	2	0	4	4	0			
不詳	1	1	0	2	2	0	1	1	0	0	0	0			
計	15	9	6	18	15	3	19	14	5	23	15	8			

※令和4年から「男女問題」は「交際問題」へ項目名変更

▼表5:自殺企図の場所 (人)

場所	令和2年			令和3年			令和4年			令和5年			令和6年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
自宅等	7	4	3	8	5	3	8	6	2	4	2	2	未公表		
高層ビル	2	2	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0			
乗物	0	0	0	2	2	0	1	1	0	1	1	0			
海(湖)・河川等	1	0	1	1	1	0	2	1	1	0	0	0			
山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0			
その他	0	0	0	2	2	0	1	1	0	5	4	1			
不詳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
計	10	6	4	13	10	3	13	10	3	12	9	3			

▼表6:自殺の企図手段 (人)

手段	令和2年			令和3年			令和4年			令和5年			令和6年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
首つり	7	4	3	9	6	3	9	7	2	5	4	1	未公表		
服毒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
練炭等	0	0	0	2	2	0	2	2	0	1	1	0			
飛降り	2	2	0	1	1	0	1	1	0	3	3	0			
飛込み	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	1	1			
その他	1	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1			
不詳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
計	10	6	4	13	10	3	13	10	3	12	9	3			

▼表7:未遂歴の有無 (人)

自殺 未遂歴	令和2年			令和3年			令和4年			令和5年			令和6年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
有	6	3	3	4	3	1	3	2	1	1	0	1	未公表		
無	1	1	0	8	6	2	8	6	2	9	8	1			
不詳	3	2	1	1	1	0	2	2	0	2	1	1			
計	10	6	4	13	10	3	13	10	3	12	9	3			

(参考) 令和6年度 守山市の相談支援対応状況について

1 自殺未遂者支援の状況

(1) 把握経路

自殺未遂により、県内の救急告示病院を受診した本人または家族に対して、病院から事業の説明を行い、同意が取れた方について保健所を通じて市(自殺対策担当課)に連絡が入る。その後保健所と連携の上、電話・訪問・面接等の方法で、自殺未遂をした本人やその家族に対して相談支援を行う。支援にあたり必要な関係機関と連携を図りながら再企図を防止する。

イ その他関係機関からの連絡

庁内関係機関が把握した自殺未遂者について、関係機関から支援についての相談が入り、連携しながら支援を行う。

▼表1: 自殺未遂者の新規把握人数(実数)

	令和4年度		令和5年度		令和6年度(12月末時点)		計(人)
	湖南いのち	その他	湖南いのち	その他	湖南いのち	その他	
男性	5	0	5	1	4	0	15
女性	9	2	14	0	11	0	36
計(人)	14	2	19	1	15	0	51

【性別・年代】令和4、5年度とも女性は男性の約2倍である。令和6年度12月末現在も、男性が4人、女性が11人と同程度の男女比となっている。年代別では令和4、5年度は20歳代女性が最も多く、次は30歳代女性である。令和6年度も同様であるが、令和4、5年度には0人だった60歳代の女性が2人となっている。(グラフ1)

【原因】「家庭問題」が多い傾向であり2割程度を占める。次いで「健康問題(精神)」、「交際問題」が多い。令和6年度では「家庭問題」、「交際問題」が多い傾向である。(グラフ2)

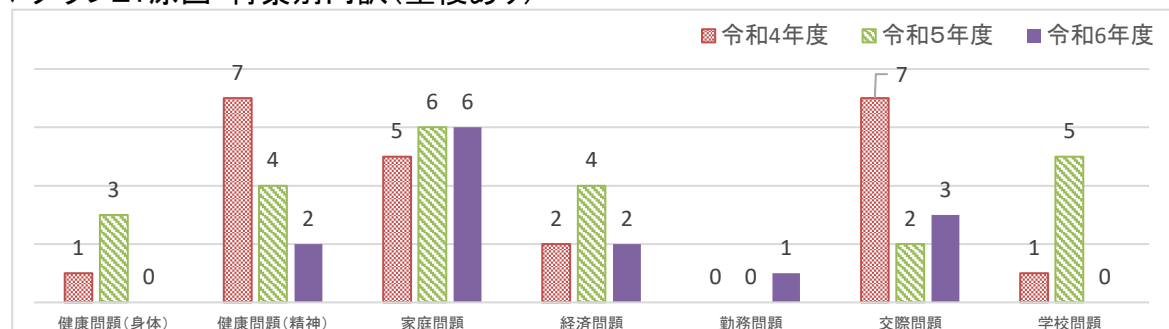
【職業別】「被雇用・勤め人」が最も多い。次いで「その他無職者」、「学生・生徒」の割合が高い。若年層の未遂者が多い状況である。(グラフ3)

【未遂歴】令和4、5、6年度とも「未遂歴あり」が「未遂歴なし」を上回っている。(グラフ4)

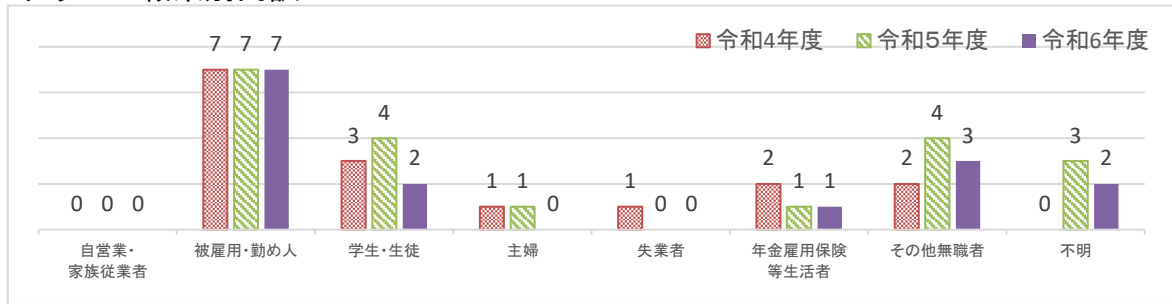
▼グラフ1: 年代別自殺未遂者数



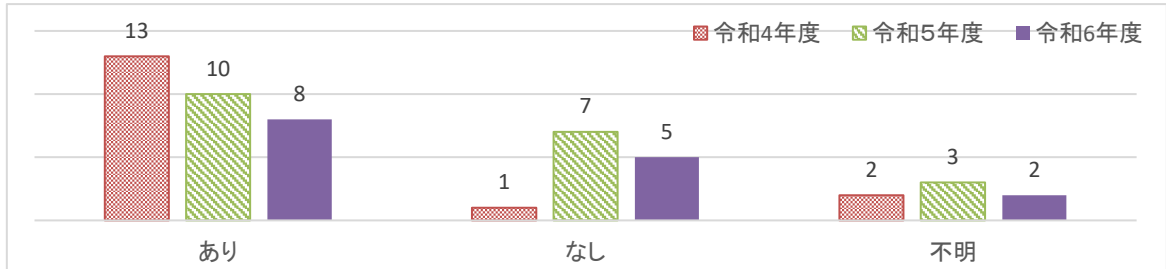
▼グラフ2: 原因・背景別内訳(重複あり)



▼グラフ3:職業別内訳



▼グラフ4:未遂歴の有無



2 精神保健相談対応の実績

▼表2:相談対応（延件数）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (12月末)
面談	122	141	179
訪問	70	60	46
電話	303	391	521
ケース会議	36	40	25
合計	531	632	771

▼グラフ5:令和6年度12月末時点での相談対応の内訳(延件数)

